

×字に交叉させる。右が左へ、左が右へと入れ替わる。即ち改まるのである。「変わる」

「交替」「交換」の手まねにもなる。

改めて 手についた砂を払い落すように両手の掌を互いに上下に叩きすり合わせる。「やり直し」の身振り。

凡ゆる いろいろ——凡て（一切、みんな）

在る 有る 右手の五指の指頭を上にし、掌を右前方斜めに向け、空間をおさえるようにさし出す。「そこに在る」と自然にさし出された手。運動競技で「セーフ」と片手をさし出すのと同じ要領。

○「山がある」山の手まねをしたその位置の空間をおさえるように掌をさし出す。

主<sup>かたじけなく</sup> 男性（親指）を少し高い目にさし上げる。

有難う 左腕（下胸部）を右手拳で叩いてから、片手で拝む。お骨折り（お世話）有難

うのことだが、一般に「有難う」と礼を云うのに通じる。

有様 五指の指頭を上にし、掌を前向けた両手で前方の空間に或る映像（状態形象）を模索する身振り。

歩く 指頭を下に向けた人差指と中指を両脚になぞらえて、交互に動かして、足を運ぶ両指の模倣運動。

アルバム 写真—帳

合わせる 五指の指頭を集めた両手を右左から接近させて、互いの指頭を付け合わせる。二つの物を附着すること。

周章てる 「焦せる」と同じ手まね。

哀れ 「悲しい」と同じ手まね。

憫れむ 哀れ——愛する。

案じる 「危い」「不安」「心配」と同じ手まね。

安心 胸に掌をあてて下へ撫で降す。「胸

をなで降す」と云うこと。

安全 危くはない—大丈夫。

案内する 左の首を右手で持って右へ引く。手を引いて案内すること。

イ

医 右手で左手の脈をとる真似。

云い当てる 「考え」の手まねをしたその右の人差指を、左手の人差指と親指とで（他の三指は伸ばしたまま）つくった輪に当てる。考えが適中したこと。

云いつける 指頭を上にした人差指を口唇にあてがい、真直ぐに前へ勢よく出す。

「命令する」「命ずる」である。

醉いび嫌 結婚—約束（男性—或は女性。）

云いふらす 五指を集めて指頭を前方に向けた両手を口許につけると同時に、口を開い

て両手の指を開きながら、左右斜めに離して行く。広く云い伝える。「放送」ともなる。

委員 親指と人差指でコの字形にして、その指頭を胸、乳の上辺りにつける。委員（役員）が胸に徽章をつけていること。

医院 医—建物（洋館）

云う 指頭を上にした人差指を口唇にあてがって、前へ軽く出す。

云うな 指頭を上にした人差指を、固く閉じた口唇におしつける。一般に誰れもがする身振り。

家 掌を「く」の字形に屈めた両手を向かい合わせて互いの中指の指頭をつけ合せて、家を形どる。指の部分は屋根、下の手甲は壁。

以下 例えば「四以下」とすると、「四」の数を表わしたままの左手の上に、右手の掌を載せ、下へ圧え降す。